

# 図書館事業計画

(2013年度～2017年度)

【概要版】

2013年 4月  
町田市立図書館

## 事業計画策定にあたって

町田市立図書館（以下「図書館」という）では、2003年1月に定めた「サービス理念と目標」に基づき事業を進めてまいりました。その後、社会環境など外部環境が変化したことを踏まえ、新たな「理念と目標」を策定すべく、2010年2月、その検討を町田市立図書館協議会にお願いし、2011年7月、新たな「町田市立図書館運営理念と目標」（以下「図書館運営理念と目標」という）として答申をいただきました。

本計画は、その答申を受け、新たな「図書館運営理念と目標」を定め、加えて、その理念と目標の実効性を担保するために、具体的な施策及び事業を定めるものです。

また、町田市には、2012年度に策定した、「まちだ未来づくりプラン」及び「新5ヵ年計画」、2009年度に策定し現在改訂作業中の、「まちだ教育プラン」などがあり、これらのプランにも図書館の施策、事業が記載されています。本計画は、それら上位計画における施策、事業の実現も加味した上で策定しています。

今後、図書館は、本計画に沿って事業を進め、適宜、その達成状況および活動状況を精査の上、事業効果を確認し、事業改善を進めます。また、併せてその結果を公表し、図書館事業の見える化も進めてまいります。その際には、その結果をご確認いただき、忌憚のないご意見をいただけたらと考えております。

皆様には、これら計画策定の意図をお汲み取りいただき、より良い図書館づくりにご理解とご協力をお願いいたします。

2013年 4月 1日

町田市立図書館

## I. 事業計画策定の考え方

### 1. 策定の目的

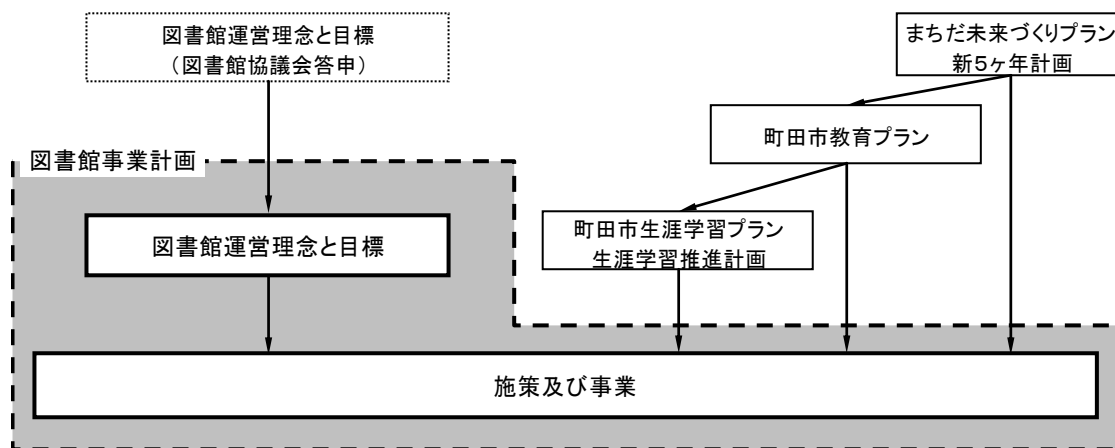
本事業計画は、図書館協議会に諮問し、2011年度に答申を受けた「図書館運営理念と目標」を市の理念、目標として決定するとともに、それを実現する施策を明らかにし、事業に結びつけることにより、「図書館運営理念と目標」実現の道筋を示すことを目的としています。

また、上位計画である「まちだ未来づくりプラン」、同「新5ヶ年計画」および、「町田市教育プラン」に記載の施策実現も対象としています。

### 2. 事業計画の位置づけ

図書館事業計画と上位計画との関係は以下のとおりです。

＜図書館事業計画の位置づけ＞



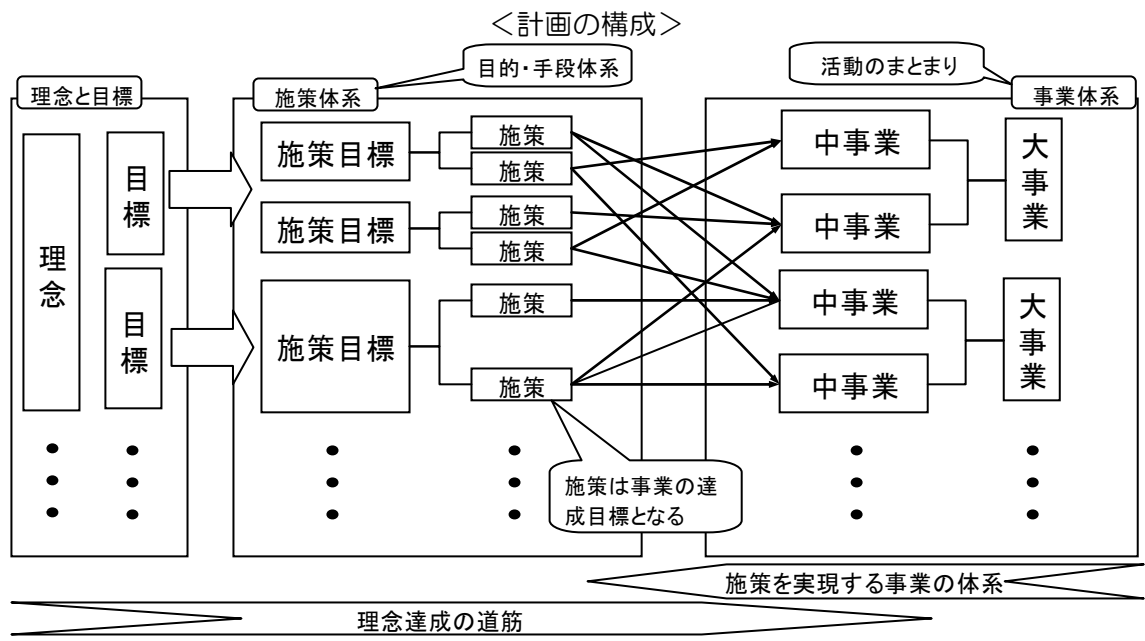
### 3. 計画で明らかにすること

本計画では、以下の事柄について明らかにします。

- ① 理念を達成する道筋を示すこと。
- ② 理念を達成する方策（施策）を明らかにすること。
- ③ 方策（施策）を事業活動の達成目標として、活動の合目的性を明らかにすること。
- ④ 図書館事業を進める上での、重点課題を明示し、その解決策である重点施策、重点事業を提示すること。
- ⑤ 事業活動に必要な予定資源を明示すること。

### 4. 計画の構成

計画は、「理念と目標」、「施策体系」、「事業体系」で構成して記述するとともに、それぞれの指示関係を明らかにします。



## 5. 計画期間

本計画の計画期間は、

2013年度 から 2017年度

の5ヶ年とします。

## II. 図書館運営理念と目標

図書館協議会答申（2011年7月）を受け、「図書館の運営理念と目標」を以下のとおり定めます。

### 【運営理念Ⅰ】 図書館は、市民の知る自由を保障し、学ぶ機会を提供します。

【説明】 図書館は、市民の生涯学習の拠点として、市民生活に役立つ情報と資料を揃えています。市民は、必要なときはいつでも、どこからでも、必要とする情報と資料を要求することができます。図書館は、できる限りの手立てを尽くして市民の要求に応える責務があると考えています。それは、図書館が、「図書館の自由に関する宣言」の立場に立ち市民の知る自由を守るとともに、地域の民主主義を支える大切な機関でなければならないからです。

#### 【運営目標】

- I-1. 市民のニーズや時代に適応した図書館運営をめざします。
- I-2. 生涯学習の拠点として、生活と学習に役立つ資料・情報を収集します。
- I-3. 市民がいつでも、どこでも、だれでも、等しくサービスを受けられる体制を築きます。
- I-4. 「図書館の自由に関する宣言」を支持し、遵守します。
- I-5. 図書館利用が困難な人々へのサービスを展開します。
- I-6. 情報通信技術（ICT）を積極的に活用し、インターネットやデータベースを提供します。

### 【運営理念Ⅱ】 図書館は、人々が出会う場を提供し、地域の発展を支援します。

【説明】 図書館は、資料・情報を提供することによって市民のさまざまな活動を支え、そこから生まれる市民相互の交流の場を提供します。図書館は、資料・情報を提供することによって、地域のさまざまな課題の解決を支援します。図書館は、市民が力を合わせて課題を解決することは地域の発展に繋がると考えています。よって、図書館機能のすべてにおいて、よりよい町をつくる市民の活動を支援します。

#### 【運営目標】

- II-1. 市民に親しまれる図書館をめざします。
- II-2. 図書館が市民にとって使いやすい施設となるように改善・整備します。
- II-3. 図書館は、市民の安息・安心の場を提供します。
- II-4. 子どもたちが豊かな心と生きる力を育むことができるような活動を実施します。
- II-5. 家庭と学校や地域と連携して、子どもの読書活動を推進します。
- II-6. 高齢者の生活に相応しい図書館活動を展開します。
- II-7. 地域の課題解決やそのための市民の取り組みへの展開を支援します。
- II-8. 行政に関わる人々への資料・情報の提供を積極的に行います。

### 【運営理念Ⅲ】 図書館は、市民文化の創造・発展に貢献します。

【説明】 図書館は、市民が余暇や趣味を充実させるための資料・情報を提供します。図

書館を利用することによって、市民がさまざまな価値を生み出し、人生をより深く豊かにいきることを支援します。

図書館は、歴史的なものに限らず、文化や生活の記録を含む過去を保存する機能を持っています。図書館は、市民が過去を紐解くことによって、新しい市民文化を創造することに貢献したいと考えています。そして、図書館は、次の世代のために、市民の創造した文化を保存します。

#### 【運営目標】

- Ⅲ-1. 市民文化に寄与するあらゆる資料・情報の提供に努めます。
- Ⅲ-2. 地域資料および地方行政資料・情報の収集と提供に力を尽くします。
- Ⅲ-3. 市民文化とまちづくりに役立つ図書館をめざします。
- Ⅲ-4. 市民の文化活動のための機会と場を提供します。
- Ⅲ-5. 多文化共生社会の視点に立つ図書館活動を進めます。
- Ⅲ-6. 図書館から新しい地域情報の発信に努めます。

#### 【運営理念Ⅳ】 図書館は、市民と共に考え、市民と共に歩みます。

【説明】 図書館は、市民の声によって成長、発展する有機体です。現代社会の変化に敏感に対応し、未来の社会への架け橋となって、市民と共に成長していきます。多くの市民が、よりよい図書館づくりのために、自ら積極的に発言し行動されることを期待するものです。

#### 【運営目標】

- Ⅳ-1. 図書館活動への市民参画・協働を推進します。
- Ⅳ-2. 図書館協議会の答申や運営への意見を重視し、図書館づくりのために協働します。
- Ⅳ-3. 図書館活動を市民のなかへ積極的にPRします。
- Ⅳ-4. 日常的に利用者との対話を重視し、利用者の声を活動に反映します。
- Ⅳ-5. 図書館活動に関わるボランティアを支援します。

#### 【運営理念Ⅴ】 図書館は、職員の専門的能力と資質の向上に努めます。

【説明】 図書館が市民へのサービスを遂行するためには、図書館に関する知識と能力ならびに豊富な経験を持つ専門的職員（司書）が配置されていなければなりません。このような力量のある職員が育つまでには相当の年数が必要です。図書館は、職員の自覚的な学びとともに公的な研修の場を保障して、職員の専門的能力と資質の向上に努めます。

#### 【運営目標】

- V-1. 図書館員としてふさわしい人材の配置と育成に努めます。
- V-2. 図書館員は、その専門的な技術と能力を積極的に市民に提供します。
- V-3. 「図書館員の倫理綱領」に則って行動します。
- V-4. 館長は職員の資質向上に資する研修等を行うとともに、職員が専門性を発揮できる環境を整備します。

### Ⅲ. 施策目標及び施策

#### 1. 施策目標及び施策設定の考え方

図書館運営目標を達成するため、まず、施策の上位の意図として施策目標を定め、それを実現するための施策を記述しています。施策は、サービス及び資源の二つの観点で分類し、サービスは、活動としての「取組」、システムとしての「仕組」、職員対応のあり方としての「職員」に、資源は、図書館の基礎資源である「資料」、サービスの拠点である「施設」、サービスを展開する「空間」に細分化して記述しています。

また、同じ施策が複数の施策目標に貢献することがあり、その際は「再掲」として標記しています。

#### 2. 施策体系

運営理念実現の目的体系である「施策体系」を以下に示します。

運営理念	運営目標	施策目標	施策	再掲表示	施策分類	施策ID
Ⅰ図書館は、市民の知る自由を保障し、学ぶ機会を提供します。	1 市民のニーズや時代に適応した図書館運営をめざします。	i.利用しやすい図書館にします	① セルフサービスによる貸出返却、予約受取		サービス>仕組	2-1
			② プライバシーに配慮した職員対応		サービス>職員	3-1
			③ 相談しやすい雰囲気づくり		サービス>職員	3-2
			④ 開放感のある明るい施設		資源>施設	5-1
			⑤ ユニバーサルな施設、設備		資源>施設	5-2
			⑥ いつでも予約受取、返却できる施設の整備		資源>施設	5-12
			⑦ 見つけやすい、調べやすい配置		資源>空間	6-8
			⑧ プライバシーに配慮した空間		資源>空間	6-6
			⑨ 開放感のある空間		資源>空間	6-1
		ii.利用者のニーズに応える図書館にします	① 充実したリクエスト制度		サービス>仕組	2-6
			② 知識豊富な職員の配置		サービス>職員	3-5
			③ 求める資料が得られる		資源>資料	4-2
			④ 豊富な資料を提供する		資源>資料	4-1
		iii.時代に適応した図書館にします	① 地域の活動を支援する		サービス>取組	1-18
			② 市民が参加できる		サービス>取組	1-15
			③ 電子図書館の開設		サービス>仕組	2-4
			④ 地域資料のデジタルアーカイブ化による所蔵資料情報とIT情報の一体化		サービス>仕組	2-19

運営理念	運営目標	施策目標	施策	再掲表示	施策分類	施策ID		
	2 生涯学習の拠点として、生活と学習に役立つ資料・情報を収集します。	i.社会動向、地域特性に立脚した資料収集をすすめます	① 他図書館との緊密な資料連携		サービス>仕組	2-27		
			② バランスの取れた資料収集と保存		資源>資料	4-3		
			③ 地域に関する情報の系統だった収集、保存と発信		資源>資料	4-8		
	3 市民がいつでも、どこでも、だれでも、等しくサービスを受けられる体制を築きます。	i.いつでも利用できる図書館にします		① 電子図書館の開設	再掲	サービス>仕組	2-4	
				② ニーズに配慮した開館日、開館時間		サービス>仕組	2-20	
				③ 開館日、開館時間に配慮した職員の配置		サービス>職員	3-10	
		ii.どこでも利用できる図書館にします		① 本を自宅まで届ける		サービス>仕組	2-8	
				② 地域文庫との連携強化		サービス>仕組	2-25	
				③ 地域館を整備する		資源>施設	5-7	
				④ 資料受渡所を設置する		資源>施設	5-10	
				⑤ 移動図書館車サービス		資源>施設	5-11	
		iii.誰でも利用できる図書館にします		① 朗読、録音、点字翻訳をする		サービス>取組	1-13	
				② 相互利用市の市民も同等に利用できる環境づくり		サービス>仕組	2-7	
		4 「図書館の自由に関する宣言」を支持し、遵守します。	i.「図書館の自由に関する宣言」の理解を深め、広めます		① 「図書館の自由」を広く周知する		サービス>取組	1-23
					② 時代の状況を見据えた対応		サービス>仕組	2-18
	③ 図書館の自由検討事例を収集、蓄積する					サービス>仕組	2-41	
	④ 公正な議論の場を設ける					サービス>仕組	2-35	
	⑤ 「図書館の自由宣言」の理解を深める					サービス>職員	3-11	
5 図書館利用が困難な人々へのサービスを展開します。	i.視覚障がい者向けサービスを提供します		① 朗読、録音、点字翻訳をする	再掲	サービス>取組	1-13		
			② ボランティアとの連携を強める		サービス>取組	1-29		
			③ 本を自宅まで届ける		サービス>仕組	2-8		
			④ 他機関と緊密に連携する		サービス>仕組	2-28		
	ii.移動困難者向けサービスを提供します		① ボランティアとの連携を強める	再掲	サービス>取組	1-29		
			② 本を自宅まで届ける	再掲	サービス>仕組	2-8		
			③ 移動図書館車サービス	再掲	資源>施設	5-11		
	iii.精神、知的障がい者の利用環境を整えます		① ボランティアとの連携を強める	再掲	サービス>取組	1-29		
			② 法人、障がい者団体の本を活用した活動を後方支援する		サービス>取組	2-42		



運営理念	運営目標	施策目標	施策	再掲表示	施策分類	施策ID
	6 情報通信技術（ICT）を積極的に活用し、インターネットやデータベースを提供します。	i.メディアに囚われないサービスを提供します。	① メディアに囚われないレファレンスサービス		サービス>仕組	2-9
			② メディアに囚われない収集		資源>資料	4-7
			③ インターネット接続サービス		資源>施設	5-13
			④ インターネット検索機器を配置		資源>施設	5-14
		ii.複合した資料を適切に提供します	① 資料本体と付録の的確管理		サービス>仕組	2-2
			② シリーズ本の希望順提供		サービス>仕組	2-3
II 図書館は、人々が出会う場を提供し、地域の発展を支援します。	1 市民に親しまれる図書館をめざします。	i.訪れやすい図書館にします	① ニーズに配慮した開館日、開館時間	再掲	サービス>仕組	2-20
			② 交通利便性の高い立地		資源>施設	5-8
			③ 居心地のよい空間		資源>空間	6-4
		ii.使いやすい図書館にします	① ニーズに配慮した開館日、開館時間	再掲	サービス>仕組	2-20
			② 適度な利用者サポート		サービス>職員	3-4
			③ 求める資料が得られる		資源>資料	4-2
			④ ユニバーサルな施設、設備	再掲	資源>施設	5-2
			⑤ わかりやすい書架配置		資源>空間	6-9
		iii.こころ安らぐ図書館にします	① 明るく、優しい対応		サービス>職員	3-3
			② ゆったりとした空間		資源>空間	6-3
		iv.楽しい図書館にします	① 子どもが楽しめる事業を実施する		サービス>取組	1-6
			② 高齢者が楽しめる事業を実施する		サービス>取組	1-9
	③ 季節感のある設え			資源>空間	6-5	
	④ 明るい空間			資源>空間	6-2	
	2 図書館が市民にとって使いやすい施設となるように改善・整備します。	i.安全で使いやすい図書館にします	① 危機を管理する		サービス>仕組	2-34
			② 危機管理能力を高める		サービス>職員	3-9
			③ ユニバーサルな施設、設備	再掲	資源>施設	5-2
			④ 老朽化に対応し常に安全を保つ		資源>施設	5-3
			⑤ ゆったりとした空間	再掲	資源>空間	6-3
	3 図書館は、市民の安息・安心の場を提供します。	i.ゆったりとくつろげる図書館にします	① 複合施設として整備する		資源>施設	5-9
② 居心地のよい空間			再掲	資源>空間	6-4	
③ ゆったりとした空間			再掲	資源>空間	6-3	
④ 干渉されない空間				資源>空間	6-7	

運営理念	運営目標	施策目標	施策	再掲表示	施策分類	施策ID
	4 子どもたちが豊かな心と生きる力を育むことができるような活動を実施します。	i.子どもが本に親しめる図書館にします	① 子どもが楽しめるサービスを実施する		サービス>取組	1-7
			② 読みたい本がある		サービス>取組	1-1
			③ 子ども向け資料の充実		資源>資料	4-5
			④ 本を見つけやすい書架		資源>施設	5-6
			⑤ 会話ができる空間		資源>空間	6-10
		ii.親子で本に親しめる図書館にします	① 親子向けサービスを実施する		サービス>取組	1-8
			② 読みたい本がある	再掲	サービス>取組	1-1
			③ 本を見つけやすい書架	再掲	資源>施設	5-6
			④ 会話ができる空間	再掲	資源>空間	6-10
		iii.子どもの読書習慣が身につく図書館にします	① お薦め本を紹介する		サービス>取組	1-2
			② 達成感が得られる読書活動支援		サービス>仕組	2-13
			③ 相談しやすい雰囲気づくり	再掲	サービス>職員	3-2
		iv.成長に応じた知識の習得ができる図書館にします	① 自主学習を支援する		サービス>取組	1-4
			② 自立学習型レファレンス		サービス>仕組	2-10
			③ 相談しやすいカウンター		サービス>仕組	2-5
			④ レファレンス精度を向上する		サービス>職員	3-7
	⑤ 成長に応じた知識習得のシナリオ化			資源>資料	4-10	
	⑥ 学習できる空間			資源>空間	6-11	
	5 家庭と学校や地域と連携して、子どもの読書活動を推進します。	i.学校、地域と連携します	① 学校事業を支援する		サービス>取組	1-21
			② 地域の団体と連携する		サービス>取組	1-19
			③ 学校図書館との連携強化		サービス>仕組	2-26
④ 地域文庫との連携強化				サービス>仕組	2-25	
ii.家族の読書活動を支援します		① 親子向けサービスを実施する	再掲	サービス>取組	1-8	
		② 読みたい本がある	再掲	サービス>取組	1-1	
		③ 会話ができる空間	再掲	資源>空間	6-10	
6 高齢者の生活に相応しい図書館活動を展開します。	i.移動制約を受けない図書館の利用を促進します	① 本を自宅まで届ける	再掲	サービス>仕組	2-8	
		② 移動図書館車サービス	再掲	資源>施設	5-11	
	ii.居場所づくりを支援します	① 定期的に催し物を開催する		サービス>取組	1-5	
		② 複合施設として整備する	再掲	資源>施設	5-9	
	iii.生きがいづくりを支援します	① 趣味がもてるきっかけづくり		サービス>取組	1-10	
		② 趣味がつなげるコミュニケーションづくり		サービス>取組	1-11	
		③ 興味でつながるコミュニケーションづくり		サービス>取組	1-12	
	7 地域の課題解決やそのための市民の取り組みへの展開を支援します。	i.地域の活動を支援します	① 地域づくりを後方支援する		サービス>仕組	2-22
		ii.地域との協働を推進します	① 地域事業を協働して運営する		サービス>仕組	2-23

運営理念	運営目標	施策目標	施策	再掲表示	施策分類	施策ID		
	8 行政に関わる人々への資料・情報の提供を積極的に行います。	i.行政関係者向けに社会動向に応じた情報を適確に提供します。	① 政策立案を支援する		サービス>取組	1-30		
			② 新しい情報を発信する		サービス>仕組	2-17		
			③ メディアに囚われないレファレンスサービス	再掲	サービス>仕組	2-9		
			④ 社会の動きを見据えた資料収集		資源>資料	4-4		
Ⅲ図書館は、市民文化の創造・発展に貢献します。	1 市民文化に寄与するあらゆる資料・情報の提供に努めます。	i.バランスの取れた収集・情報提供を行います。	① 調査研究を支援する		サービス>取組	1-3		
			② 充実したリクエスト制度	再掲	サービス>仕組	2-6		
			③ 他機関と緊密に連携する	再掲	サービス>仕組	2-28		
			④ 地域に関する情報の系統だった収集、保存と発信	再掲	資源>資料	4-8		
	2 地域資料および地方行政資料・情報の収集と提供に力を尽くします。	i.地域特性に立脚した資料収集を行います	① 地域に関する情報の系統だった収集、保存と発信	再掲	資源>資料	4-8		
			3 市民文化とまちづくりに役立つ図書館をめざします。	i.市民の生活、活動の各シーンに即したサービスを提供します	① 地域資料収集、分析による地域の特性把握とその提供		サービス>取組	1-14
					② ライフステージに即した資料の提供		サービス>仕組	2-14
	4 市民の文化活動のための機会と場を提供します。	i.コミュニケーションの場づくり、きっかけ作りを行います	③ 生活シーンに即した資料の提供		サービス>仕組	2-15		
			① 趣味がつなげるコミュニケーションづくり	再掲	サービス>取組	1-11		
			② 興味でつながるコミュニケーションづくり	再掲	サービス>取組	1-12		
			③ 本から生まれる活動を支援する		サービス>仕組	2-16		
	5 多文化共生社会の視点に立つ図書館活動を進めます。	i.多言語資料の収集、多言語のレファレンスを進めます	④ 複合施設として整備する	再掲	施設	5-9		
			① 多言語に対応したレファレンス		サービス>仕組	2-11		
			② 多言語対応できる職員を採用・育成する		サービス>職員	3-13		
			③ 多言語資料の収集		資源>資料	4-6		
	6 図書館から新しい地域情報の発信に努めます。	i.地域に関する情報の系統だった収集と効率的な発信を行います	④ 他言語資料の日本語での提供		資源>資料	4-9		
			① 地域資料収集、分析による地域の特性把握とその提供	再掲	サービス>取組	1-14		
			② 地域資料のデジタルアーカイブ化による所蔵資料情報とIT情報の一体化	再掲	サービス>仕組	2-19		
				③ 地域に関する情報の系統だった収集、保存と発信	再掲	資源>資料	4-8	

運営理念	運営目標	施策目標	施策	再掲表示	施策分類	施策ID
IV 図書館は、市民と共に考え、市民と共に歩みます。	1 図書館活動への市民参画・協働を推進します。	i. 図書館運営の地域協働化を進めます	① 支援団体、支援者との連携強化		サービス>取組	1-22
			② 地域文庫と連携する		サービス>取組	1-20
			③ 支援団体とのネットワークづくり		サービス>仕組	2-24
			④ 地域法人との運営連携		サービス>仕組	2-29
			⑤ 地域が図書館活動に参加できる仕組づくり		サービス>仕組	2-21
	2 図書館協議会の答申や運営への意見を重視し、図書館づくりのために協働します。	i. 図書館協議会の自立性を担保します	① 図書館協議会運営の自立を確保		サービス>仕組	2-36
	3 図書館活動を市民のなかへ積極的にPRします。	i. ソーシャルネットワークへの発信など、発信力を強化します	① SNSなどの新たなネットワークを形成する		サービス>仕組	2-30
			② 既存メディアの積極活用		サービス>仕組	2-31
	4 日常的に利用者との対話を重視し、利用者の声を活動に反映します。	i. 利用者の要望、苦情を常に把握、分析し業務に活かします	① 利用者の声を聞く		サービス>仕組	2-32
			② 利用者の声を蓄積する		サービス>仕組	2-43
			③ 市民の声を聞く		サービス>仕組	2-33
	5 図書館活動に関わるボランティアを支援します。	i. 支援団体との連携、ネットワークづくりを強化します	① ボランティアサービスの質を上げる		サービス>取組	1-16
			② ボランティアサービスの幅を拡げる		サービス>取組	1-17
			③ SNSなどのロコミネットワークを形成する	再掲	サービス>仕組	2-30
			④ ボランティア団体とのネットワーク化		サービス>仕組	2-44
V 図書館は、職員専門的能力と資質の向上に努めます。	1 図書館員としてふさわしい人材の配置と育成に努めます。	i. 司書資格保有率を高めます	① 司書を積極的に採用する		サービス>仕組	1-24
			② 専門員養成プログラム		サービス>仕組	2-37
		ii. 専門性向上に努めます	① 専門員養成プログラム	再掲	サービス>仕組	2-37
	iii. 地域人を養成します	① 地域人養成プログラム		サービス>仕組	2-38	
		2 図書館員は、その専門的な技術と能力を積極的に市民に提供します。	i. すべてのサービスで専門性を発揮します	① 資料解説、読解支援		サービス>仕組
② 資料相談に適確に答える知識を持つ				サービス>職員	3-6	
③ レファレンス精度を向上する	再掲			サービス>職員	3-7	
④ 読み聞かせ能力を高める				サービス>職員	3-8	
⑤ 専門職、専任職を置く				サービス>職員	3-14	

運営理念	運営目標	施策目標	施策	再掲表示	施策分類	施策ID		
	3 「図書館員の倫理綱領」に則って行動します	i.図書館員の社会的責任を明らかにして行動します。	① 図書館の社会的責任を明らかにする		サービス>取組	1-25		
			② 倫理綱領の実効性を担保する		サービス>仕組	2-40		
			③ 倫理綱領にしたがって行動する		サービス>職員	3-12		
	4 館長は職員の資質向上に資する研修等を行うとともに、職員が専門性を発揮できる環境を整備します。	i.良好な利用環境、執務環境を確保します	① 良好な利用環境、執務環境を確保する			サービス>取組	1-26	
				ii.優れた人材を育成します	① 専門性を有する地域人材として育成する		サービス>仕組	2-39
					② 職員間で知識、情報を共有する		サービス>仕組	2-46
				iii.効率的で実効性のある組織経営を行います	① 効率的で実効性のある組織に改革する		サービス>取組	1-27
		iv.実効性があり安定した事業経営を行います	① 安定した事業経営を行う		サービス>取組	1-28		
			② 事業スケールに応じた効率的で実効性のある事業経営を行う		サービス>取組	1-31		

## IV. 事業活動と施策

### 1. 事業活動と施策の関係

前述した、運営理念及び目標、施策目標、施策で構成する施策体系は、運営理念を実現する具体的な方策の体系（目的体系）となっています。

一方で、事業は活動を主体とすることから、活動目的や活動自身の同一性、同質性、効率性の観点からまとまっています。

事業にとって上記施策は、その活動を行う上で運営理念を達成する直接的目標であり、達成すべき上位の意図でもあります。このことから、自らの活動目標に施策を加えた目標を、その事業が達成すべき目標として定め、事業活動を行うことが必要です。

本計画では中事業を核となる事業とし、大事業>中事業の階層で著しています。

### 2. 事業、施策関連表

事業体系および施策との関連を以下に示します。

大事業	中事業	施策（上位の意図）	再掲	施策分類	
I 資料閲覧貸出	I - 1.利用者情報管理	3-1 プライバシーに配慮した職員対応		サービス	職員
		3-2 相談しやすい雰囲気づくり		サービス	職員
		3-3 明るく、優しい対応		サービス	職員
	I - 2.書誌情報管理	3-14 専門職、専任職を置く		サービス	職員
	I - 3.選定	1-1 読みたい本がある		サービス	取組
		2-6 充実したリクエスト制度		サービス	仕組
		4-1 豊富な資料を提供する		資源	資料
		4-3 バランスの取れた資料収集と保存		資源	資料
		4-4 社会の動きを見据えた資料収集		資源	資料
		4-5 子ども向け資料の充実		資源	資料
		4-6 多言語資料の収集		資源	資料
		4-7 メディアに囚われない収集		資源	資料
	I - 4.資料整理	1-2 お薦め本を紹介する		サービス	取組
	I - 5.配架	6-8 見つけやすい、調べやすい配置		資源	空間
		6-9 わかりやすい書架配置		資源	空間
	I - 6.蔵書点検	2-20 ニーズに配慮した開館日・開館時間		サービス	仕組
	I - 7.貸出・返却	2-1 セルフサービスによる貸出返却、予約受取		サービス	仕組
		2-2 資料本体と付録の的確管理		サービス	仕組
		2-3 シリーズ本の希望順提供		サービス	仕組
		2-27 他図書館との緊密な資料連携		サービス	仕組
		2-20 ニーズに配慮した開館日・開館時間	再掲	サービス	仕組
		3-1 プライバシーに配慮した職員対応	再掲	サービス	職員
		3-2 相談しやすい雰囲気づくり	再掲	サービス	職員
		3-3 明るく、優しい対応	再掲	サービス	職員
		3-4 適度な利用者サポート		サービス	職員
		4-1 豊富な資料を提供する	再掲	資源	資料
		4-2 求める資料が得られる		資源	資料
4-7 メディアに囚われない収集	再掲	資源	資料		
I - 8.移動図書館	5-11 移動図書館車サービス		資源	施設	
I - 9.予約資料貸出返却	5-12 利用しやすい図書館にします		サービス	仕組	
I - 10.保存・除籍	2-27 他図書館との緊密な資料連携		サービス	仕組	

大事業	中事業	施策（上位の意図）	再掲	施策分類	
		3-14 専門職、専任職を置く	再掲	サービス 職員	
		4-3 バランスの取れた資料収集と保存	再掲	資源 資料	
	I - 1 1.読書相談	3-5 知識豊富な職員の配置		サービス 職員	
Ⅱ 利用 援助	Ⅱ - 1.レファレンス	1-3 調査研究を支援する		サービス 取組	
		1-4 自主学習を支援する		サービス 取組	
		1-14 地域資料収集、分析による地域の特性把握とその提供		サービス 取組	
		1-18 地域の活動を支援する		サービス 取組	
		1-30 政策立案を支援する		サービス 取組	
		2-9 メディアに囚われないレファレンスサービス		サービス 仕組	
		2-10 自立学習型レファレンス		サービス 仕組	
		2-11 多言語に対応したレファレンス		サービス 仕組	
		2-12 資料解説、読解支援		サービス 仕組	
		2-13 達成感が得られる読書活動支援		サービス 仕組	
		2-16 本から生まれる活動を支援する		サービス 仕組	
		2-17 新しい情報を発信する		サービス 仕組	
		3-1 プライバシーに配慮した職員対応	再掲	サービス 職員	
		3-2 相談しやすい雰囲気づくり	再掲	サービス 職員	
		3-3 明るく、優しい対応	再掲	サービス 職員	
		3-4 適度な利用者サポート	再掲	サービス 職員	
		3-5 知識豊富な職員の配置	再掲	サービス 職員	
		3-6 資料相談に適確に答える知識を持つ		サービス 職員	
		3-7 レファレンス精度を向上する		サービス 職員	
		3-13 多言語対応できる職員を採用・育成する		サービス 職員	
		3-14 専門職、専任職を置く	再掲	サービス 職員	
		4-4 社会の動きを見据えた資料収集	再掲	資源 資料	
		4-6 多言語資料の収集	再掲	資源 資料	
		4-7 メディアに囚われない収集	再掲	資源 資料	
		4-8 地域に関する情報の系統だった収集、保存と発信		資源 資料	
		4-9 他言語資料の日本語での提供		資源 資料	
		4-10 成長に応じた知識習得のシナリオ化		資源 資料	
		Ⅱ - 2.電子情報閲覧	5-13 インターネット接続サービス		資源 施設
			5-14 インターネット検索機器を配置		資源 施設
		Ⅱ - 3.障がい者サービス	1-13 朗読、録音、点字翻訳をする		サービス 取組
			2-8 本を自宅まで届ける		サービス 仕組
			2-42 法人、障がい者団体の本を活用した活動を後方支援する		サービス 仕組
			3-1 プライバシーに配慮した職員対応	再掲	サービス 職員
			3-2 相談しやすい雰囲気づくり	再掲	サービス 職員
			3-3 明るく、優しい対応	再掲	サービス 職員
		Ⅲ 利用 普及	Ⅲ - 1.一般向け普及	1-5 定期的に催し物を開催する	
1-9 高齢者が楽しめる事業を実施する				サービス 取組	
1-10 趣味がもてるきっかけづくり				サービス 取組	
1-11 趣味がつなげるコミュニケーションづくり				サービス 取組	

大事業	中事業	施策（上位の意図）	再掲	施策分類			
		1-12 興味でつながるコミュニケーションづくり		サービス	取組		
		1-19 地域の団体と連携する		サービス	取組		
		4-10 成長に応じた知識習得のシナリオ化	再掲	資源	資料		
	Ⅲ - 2.子ども向け普及	1-5 定期的に催し物を開催する	再掲	サービス	取組		
		1-6 子どもが楽しめる事業を実施する		サービス	取組		
		1-7 子どもが楽しめるサービスを実施する		サービス	取組		
		1-8 親子向けサービスを実施する		サービス	取組		
		1-16 ボランティアサービスの質を上げる		サービス	取組		
		1-17 ボランティアサービスの幅を拡げる		サービス	取組		
		1-19 地域の団体と連携する	再掲	サービス	取組		
		1-20 地域文庫と連携する		サービス	取組		
		1-21 学校事業を支援する		サービス	取組		
		2-24 支援団体とのネットワークづくり		サービス	仕組		
		2-26 学校図書館との連携強化		サービス	仕組		
		3-8 読み聞かせ能力を高める		サービス	職員		
		4-5 子ども向け資料の充実	再掲	資源	資料		
	Ⅲ - 3.YA 向け普及	2-26 学校図書館との連携強化	再掲	サービス	仕組		
		4-10 成長に応じた知識習得のシナリオ化	再掲	資源	資料		
	Ⅲ - 4.障がい者向け普及	1-16 ボランティアサービスの質を上げる	再掲	サービス	取組		
		1-17 ボランティアサービスの幅を広げる	再掲	サービス	取組		
		2-24 支援団体とのネットワークづくり	再掲	サービス	仕組		
	Ⅲ - 5.連携協力	2-27 他図書館との緊密な資料連携	再掲	サービス	仕組		
		2-28 他機関と緊密に連携する	再掲	サービス	仕組		
Ⅳ 地域支援	Ⅳ - 1.地域支援	1-18 地域の活動を支援する		サービス	取組		
		2-14 ライフステージに即した資料の提供		サービス	仕組		
		2-15 生活シーンに即した資料の提供		サービス	仕組		
		2-21 地域が図書館活動に参加できる仕組づくり		サービス	仕組		
		2-22 地域づくりを後方支援する		サービス	仕組		
		2-24 支援団体とのネットワークづくり	再掲	サービス	仕組		
		4-8 地域に関する情報の系統だった収集、保存と発信	再掲	資源	資料		
	Ⅳ - 2.地域協働	1-19 地域の団体と連携する	再掲	サービス	取組		
		1-20 地域文庫と連携する	再掲	サービス	取組		
		1-22 支援団体、支援者との連携強化		サービス	取組		
		1-29 ボランティアとの連携を強める		サービス	取組		
		2-23 地域事業を協働して運営する		サービス	仕組		
		2-24 支援団体とのネットワークづくり	再掲	サービス	仕組		
		2-25 地域文庫との連携強化		サービス	仕組		
		2-29 地域法人との運営連携		サービス	仕組		
		2-44 ボランティア団体とのネットワーク化		サービス	仕組		
		4-8 地域に関する情報の系統だった収集、保存と発信	再掲	資源	資料		
		企画 V 図書館	V - 1.事業計画策定	2-4 電子図書館の開設		サービス	仕組
			V - 2.地域館整備及び予約資料受渡拠点整備	1-26 良好な利用環境、執務環境を確保する		サービス	取組
5-1 開放感のある明るい施設				資源	施設		



大事業	中事業	施策（上位の意図）	再掲	施策分類	
		5-2 ユニバーサルな施設、設備		資源	施設
		5-4 車椅子でも利用できる施設		資源	施設
		5-5 音声案内を含めたわかりやすいサイン		資源	施設
		5-6 本を見つけやすい書架		資源	施設
		5-7 地域館を整備する		資源	施設
		5-8 交通利便性の高い立地		資源	施設
		5-9 複合施設として整備する		資源	施設
		5-10 資料受渡所を設置する		資源	施設
		5-12 いつでも予約受取、返却できる施設の整備	再掲	資源	施設
		6-1 開放感のある空間		資源	空間
		6-2 明るい空間		資源	空間
		6-3 ゆったりとした空間		資源	空間
		6-4 居心地のよい空間		資源	空間
		6-6 プライバシーに配慮した空間		資源	空間
		6-7 干渉されない空間		資源	空間
		6-9 わかりやすい書架配置		資源	空間
		6-10 会話ができる空間		資源	空間
		6-11 学習できる空間		資源	空間
	V - 3.情報システム更改				
	V - 4.業務効率化、サービス向上	2-1 セルフサービスによる貸出返却、予約受取	再掲	サービス	仕組
2-20 ニーズに配慮した開館日、開館時間			サービス	仕組	
V - 5.地域資料デジタル化	2-19 地域資料のデジタルアーカイブ化による所蔵資料情報とIT情報の一体化		サービス	仕組	
V - 6.図書館運営改革	1-27 効率的で実効性のある組織に改革する	再掲	サービス	取組	
	2-29 地域法人との運営連携		サービス	仕組	
V - 7.広報・広聴	1-23 「図書館の自由」を広く周知する		サービス	取組	
	2-30 SNSなどの新たなネットワークを形成する		サービス	仕組	
	2-31 既存メディアの積極活用		サービス	仕組	
	2-35 公正な議論の場を設ける		サービス	仕組	
VI 図書館運営	VI - 1.組織運営	1-24 司書を積極的に採用する		サービス	取組
		1-27 効率的で実効性のある組織に改革する		サービス	取組
		2-46 職員間で知識、情報を共有する		サービス	仕組
	VI - 2.業務運営	1-15 市民が参加できる		サービス	取組
		1-25 図書館の社会的責任を明らかにする		サービス	取組
		1-28 安定した事業経営を行う		サービス	取組
		1-31 事業スケールに応じた効率的で実効性のある事業経営を行う		サービス	取組
		2-5 相談しやすいカウンター		サービス	仕組
		2-7 相互利用市の市民も同等に利用できる環境づくり		サービス	仕組
		2-18 時代の状況を見据えた対応		サービス	仕組
		2-20 ニーズに配慮した開館日、開館時間	再掲	サービス	仕組
		2-32 利用者の声を聞く		サービス	仕組
2-33 市民の声を聞く		サービス	仕組		

大事業	中事業	施策（上位の意図）	再掲	施策分類	
		2-41 図書館の自由検討事例を収集、蓄積する		サービス	仕組
		2-43 利用者の声を蓄積する		サービス	仕組
		3-10 開館日、開館時間に配慮した職員の配置		サービス	職員
	VI - 3.施設運営	1-4 自主学習を支援する	再掲	サービス	取組
		1-26 良好な利用環境、執務環境を確保する	再掲	サービス	取組
		2-34 危機を管理する		サービス	仕組
		3-9 危機管理能力を高める		サービス	職員
		3-13 多言語対応できる職員を採用・育成する	再掲	サービス	職員
		3-14 専門職、専任職を置く		サービス	職員
		5-1 開放感のある明るい施設	再掲	資源	施設
		5-2 ユニバーサルな施設、設備	再掲	資源	施設
		5-3 老朽化に対応し常に安全を保つ		資源	施設
		5-4 車椅子でも利用できる施設	再掲	資源	施設
		5-5 音声案内を含めたわかりやすいサイン	再掲	資源	施設
		5-6 本を見つけやすい書架	再掲	資源	施設
		6-1 開放感のある空間	再掲	資源	空間
		6-2 明るい空間	再掲	資源	空間
		6-3 ゆったりとした空間	再掲	資源	空間
		6-4 居心地のよい空間	再掲	資源	空間
		6-5 季節感のある設え		資源	空間
		6-6 プライバシーに配慮した空間	再掲	資源	空間
		6-7 干渉されない空間	再掲	資源	空間
		6-9 わかりやすい書架配置	再掲	資源	空間
	6-10 会話ができる空間	再掲	資源	空間	
	VI - 4.事業評価（図書館評価）	1-25 図書館の社会的責任を明らかにする	再掲	サービス	取組
	VI - 5.人材育成	2-37 専門員養成プログラム		サービス	仕組
		2-38 地域人養成プログラム		サービス	仕組
		2-39 専門性を有する地域人材として育成する		サービス	仕組
		2-40 倫理綱領の実効性を担保する		サービス	仕組
		3-9 危機管理能力を高める	再掲	サービス	職員
		3-11 「図書館の自由宣言」の理解を深める		サービス	職員
		3-12 倫理綱領にしたがって行動する		サービス	職員
		3-13 多言語対応できる職員を採用・育成する	再掲	サービス	職員
	3-14 専門職、専任職を置く	再掲	サービス	職員	
	VI - 6.情報システム	2-34 危機を管理する	再掲	サービス	仕組
		3-9 危機管理能力を高める	再掲	サービス	職員
	VI - 7.外部機関連携	2-36 図書館協議会運営の自立を確保		サービス	仕組

## V. 事業計画

### 1. 重点課題

ここでは、特に事業を推進する観点から、重点となる課題を明らかにします。

#### ① 事業拡大によるスケールメリットを活かす

町田市は、現在、中央図書館をはじめとして、2012年10月に開館した鶴川駅前図書館を含め地域館6館、文学館1館を擁しており、2015年度には仮称 忠生図書館を開館させる予定になっています。また、予約本の受取サービスも、忠生市民センターをはじめ3箇所を実施し、今後もサービス拠点の拡充を視野に入れており、事業は拡大していきます。

一方、図書館事業、特に図書の貸出返却事業、予約本受取事業は、現在も対面による労働集約型のサービスとなっています。このような状況の中、現状の労働集約型サービスを継続することは、事業拡大によるスケールメリットがないまま、事業を肥大化させることとなります。

民間では、金融機関における現金自動預け入れ払い機（ATM）の導入など、早い段階から自動化、セルフサービス化が進んでいます。また、このことでサービス拠点の拡大も急速に進みました。現在では、金融機関の店舗に出向かなくてもサービスが受けられるようになっています。図書館においても、業務の自動化、セルフサービス化を早急に進める必要があります。

加えて、鶴川駅前図書館は複合施設である「和光大学ポプリホール鶴川」の中にありながら、ホール、コミュニティ施設など他の施設機能と開館日、開館時間が一致していません。開館後、利用者の動向を見据え、図書館の全サービスを一致させる方法もしくは、予約資料の受取サービスを合わせる方法など、業務の自動化、セルフサービス化を取り入れてこの課題も解決していきます。

#### ② サービスの地域偏在を解消する

上述したとおり、図書館は中央図書館をはじめ現在7館、2015年度には、忠生地域に1館設置する予定で、図書館数は計8館となる予定です。これにより、人口当たりの設置数は、約5万人当たり1館となります。

一方で、地域配置を見ますと、つくし野駅、南町田駅周辺、成瀬周辺、野津田周辺、小山周辺が未だサービスの空白地域となっています。これを補完する観点から、2010年度から南町田駅前連絡所（リエゾン）、忠生市民センター、小山市民センターの3箇所ですべて予約資料の受け渡しサービスを開始しました。その結果、利用実績は想定を大きく上回り、利用ニーズの高さが明らかとなりました。

これら、サービスニーズの高い地域への地域館配置や空白地域へのサービス充実など、サービスの地域偏在解消が課題となっています。

#### ③ 資料のデジタルアーカイブ化を推進する

現在、当館における地域資料は、データ登録されているものだけでも約4万点に及び資料の活用はおろか資料の保存にも支障をきたしています。これら地域資料は、前述したように地域が新しい活動を行っていくうえで重要な資料であり、町田市にとっても、地域の

風俗、歴史の観点から貴重な資料です。これら資料が現在のまま紙の媒体で管理されている限り、地域への積極活用は難しい状況です。これら資料を中長期に亘り計画的にデジタルアーカイブ化していく必要があります。

#### ④ 地域支援に取り組む

図書館はこれまで、市民の活動を支援する目的で、レファレンスサービスを行ってきました。しかし、現在のサービスは市民が問い合わせをして初めて利用できるサービスであり、受身のサービスで、かつ、主に個人を対象としたものでした。一方で、地域には様々な課題が散在し、その課題を解決すべく活動する団体も増加しています。それら団体が有効に活動できるように、地域情報の提供、他の地方の取り組み等これらの活動を後方から支援することも図書館の主要な役割ですが、現在、その取り組みはまったく行っていません。地域活動を活性化するためにも、施設を飛び出してこの取り組みを強化する必要があります。

## 2. 重点事業計画

上述した重点課題解決のための以下の重点事業を定めます。

- ① 業務の効率化、サービス向上事業
- ② 地域館整備及び予約資料受渡拠点整備事業
- ③ 地域資料デジタル化、地域支援事業

重点事業概要を次頁以降に示します。

重点事業名	(1) 業務効率化、サービス向上事業		1	目標達成時期	2015年度
重点課題		事業概要			
(1) 事業拡大によるスケールメリットを活かす		2015年度の仮称忠生図書館開館に向け、業務の自動化、セルフサービスを進めることで、新規開館による人件費等経常的経費の増加を抑制するとともに、既存業務の効率化を進める。			
実施案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICタグ等の導入により、資料の貸出業務、予約資料の受取業務をセルフサービス化する。</li> <li>・鶴川駅前図書館など複合施設において、特にニーズの高い予約資料受渡しサービスは、他の施設サービスと同等の開館日、開館時間を実現する。</li> <li>・図書館サービス空白地域において、予約資料の受取り、資料の返却サービス拠点を拡大する。</li> <li>・これらのサービスに対応するため、現行の図書館情報システムを更改する。</li> </ul> <p>※現図書館システムについては、対応する機器のOS（オペレーションシステム コンピュータ制御システム）保守終了が決定しているため、2014年度内に更改する必要もあります</p>				
実施事業名	ICタグ導入	概算費用	336,400千円	実施期間	2013年度～2015年度
事業詳細	<p>現在、資料の貸出の登録は、カウンターで職員がバーコードラベルを読み込むことで対応しています。この方法では、資料1点1点をバーコードリーダーで読み取る必要があります。加えて、無断持ち出し禁止策として書籍に磁気テープ（タトルテープ）を貼っています。貸出時には、この磁気の消磁処理も行わなければなりません。</p> <p>ICタグを導入することにより、約10冊程度を一括して貸出処理が行え、無断持ち出し防止も同時に処理を行えるようになります。この作業を自動化することで、利用者自らが貸し出し処理を行えるセルフサービスも実現できます。</p> <p>また、現在、予約資料の受け渡しもカウンターで行っていますが、これら処理のセルフサービス化も実現できることから、カウンターワークの省力化が期待できます。</p> <p>ICタグコストは、数年前までは120～150円/点でしたが、現在では約30円/点と価格が下落しています。現在、タトルテープの調達価格が、30円/点ですので、運営コストの増加はありません。</p> <p>一方、投資的な経費として、既存資料のICタグ貼付、タグ読み取り機器、自動貸出機、予約棚管理機器および機器配置のための施設改修があります。</p> <p>この中で、特に高コストなのが予約棚管理機器です。予約棚（中央図書館の場合で約7000冊分）の在庫を常時管理するため、ICタグが発する電波を受信するシステムです。そこで、今回の導入では、予約棚の在庫管理をICタグを使わず、カラーバーコードを使用してカメラによる管理とし、導入コストを大幅に削減します。</p> <p>※ 公会計上の費用対効果 費用額：59,128千円/年 効果額：61,796千円/年</p>				
スケジュール	2013	2014	2015	2016	2017
	既存資料再装備 (1/2) ICタグ関連機器導入 費用額：(一括) 86,258千円 (分割) 63,866千円	既存資料再装備 (1/2) 施設改修 費用額：(一括) 180,044千円 (分割) 63,866千円	自動貸出機設置 予約資料受渡機器等 設置、稼働 費用額：(一括) 70,098千円 (分割) 74,319千円 効果額： 61,796千円	自動貸出機、予約資料受渡機器等 稼働 費用額：(一括) 20,285千円 (分割) 74,319千円 効果額： 61,796千円	自動貸出機、予約資料受渡機器等 稼働 費用額：(一括) 20,285千円 (分割) 74,319千円 効果額： 61,796千円

実施事業名	鶴川駅前図書館サービス向上	概算費用	9,772 千円	実施期間	2013 年度 ~ 2014 年度
事業詳細	<p>2012 年 10 月、鶴川駅前図書館が開館しました。鶴川駅前図書館は中央図書館と同様の開館日、開館時間となっています。一方、施設である「和光大学ポブリホール鶴川」は、開館日が第一・三月曜日を除く毎日、開館時間は 8:30~22:00 となっています。</p> <p>図書館は施設運営と異なり、閉館時に返却本等の配架、購入資料の予備選定、事業等の実施準備、職員の研修など、開館時には行えない業務を行っていることから、実質的な施設の休館はなく、システムの対応を除くと年末年始のみとなっています。この状況で、開館日、開館時間の延長を行うことは、新たな職員の配置が必要となることから、運営コストの増大を招きます。</p> <p>そこで、利用者の利便性を一定程度確保しつつ、大幅なコスト増を避ける趣旨で、予約資料の受取時間の拡大を行います。</p> <p>鶴川駅前図書館では、「和光大学ポブリホール鶴川」1 階の交流スペースの一角に、自動予約資料受渡コーナーを設置し、図書館の休館日、閉館時間でも予約資料の受け取りができるよう対応を行います。</p> <p>※ 公会計上の費用対効果 費用額：2,033 千円/年 効果額：2,800 千円/年</p>				
スケジュール	2013	2014	2015	2016	2017
	設置検討、調整	設置準備	予約資料受渡機器等 設置、稼働  費用額：9,772 千円 (施設改修費を除く) 効果額：2,800 千円	予約資料受渡機器等 稼働  費用額：404 千円 効果額：2,800 千円	予約資料受渡機器等 稼働  費用額：404 千円 効果額：2,800 千円
実施事業名	図書館システム更改	概算費用	見積中	実施期間	2014 年度~ 2015 年度
事業詳細	<p>現在の図書館システムは、1990 年のシステムをベースに、ソフトウェアや機器類を定期的に更新してきました。最近では、新しい OS (オペレーティングシステム コンピュータ制御システム) に対応させるため、2009 年度に機器を更新、機能アップを行いました。しかしその後、OS のバージョンアップが進み、現在使用している OS は保守対象外となっています。そのため、2015 年度に開館する仮称忠生図書館までにはシステムを更改する必要があります。</p> <p>また、機器のリース期限は 2014 年度末までですが、リース延長も上記状況から難しい状況にあります。</p> <p>加えて、この更改時期にあわせ、現在保有していない IC タグシステムとの連携機能組み込み済みパッケージを導入することで、システム改造費用の節約を図ります。</p>				
スケジュール	2013	2014	2015	2016	2017
	システム更改検討 データ移行検討	更改準備  移行データ作成 システム更改 費用額：〇〇千円	新システムによる業務 遂行	新システムによる 業務遂行	新システムによる業 務遂行

重点事業名	(2) 地域館整備及び予約資料受渡拠点整備事業		2	目標達成時期	2015年度
重点課題			事業概要		
(2) サービスの地域偏在を解消する			地域館整備の考え方、及びサービス偏在解消の考え方を示します。		
実施案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度に地域館（仮称 忠生図書館）を開設します。</li> <li>・同年度に予約資料受渡拠点を、成瀬センターに開設します。</li> </ul> <p>整備の考え方</p> <p>地域館については、2012年度の鶴川駅前図書館に引き続き2館目の設置となります。この2館も同様ですが、図書館、特に地域館は地域の拠点となる施設として、複合施設整備をしてきています。それは、図書館は、書籍等の利用にとどまらず、地域の活動を情報や知識の面から支援する施設と考えるからです。</p> <p>また、昨今図書館に対して学習室設置の要望も市民から多く寄せられています。これまで図書館は、読書の空間整備は行ってきましたが、学習空間の整備は行ってきませんでした。今後は、これらの機能もコミュニティ施設、生涯学習施設との複合施設として整備を検討していきます。このため、図書館単独の整備計画は策定いたしません。</p> <p>また、それを補完する予約資料受渡施設整備も同様に、サービス空白地域の公共施設内に整備していきたいと考えています。</p>				
	<p>2015年度、仮称忠生図書館開設に向け準備を進めます。</p> <p>現在予定している施設規模およびサービス内容は以下のとおりです。</p> <p>延床面積：1203.58㎡→ 2階：開架及びバックヤード、3階：事務スペース及び可動書庫  蔵書数：一般書5万、児童書2万5千冊、閉架書庫2万5千冊（合計10万冊、開架部分7万5千冊。但し開館時は6万4千冊の予定）  施設等：一般書コーナー、ヤングアダルトコーナー、児童コーナー（おはなしの部屋含む）、多目的室、閉架書庫、図書事務室、ワークルーム 他  サービスコンセプト：（1）世代を超えて交流できる図書館 （2）忠生地域密着型の図書館  （3）子ども読書活動推進計画のモデル図書館</p> <p>※ 公会計上の費用対効果  費用額：157,959千円/年</p>				
実施事業名	仮称忠生図書館整備	概算費用	348,850千円	実施期間	2013年度～2015年度
事業詳細	<p>2015年度、仮称忠生図書館開設に向け準備を進めます。</p> <p>現在予定している施設規模およびサービス内容は以下のとおりです。</p> <p>延床面積：1203.58㎡→ 2階：開架及びバックヤード、3階：事務スペース及び可動書庫  蔵書数：一般書5万、児童書2万5千冊、閉架書庫2万5千冊（合計10万冊、開架部分7万5千冊。但し開館時は6万4千冊の予定）  施設等：一般書コーナー、ヤングアダルトコーナー、児童コーナー（おはなしの部屋含む）、多目的室、閉架書庫、図書事務室、ワークルーム 他  サービスコンセプト：（1）世代を超えて交流できる図書館 （2）忠生地域密着型の図書館  （3）子ども読書活動推進計画のモデル図書館</p> <p>※ 公会計上の費用対効果  費用額：157,959千円/年</p>				
スケジュール	2013	2014	2015	2016	2017
	<p>図書等資料発注</p> <p>費用額：70,600千円</p>	<p>図書等資料発注 備品等購入 開館準備</p> <p>費用額：196,450千円</p>	<p>開館準備 開館</p> <p>費用額：175,917千円</p>	<p>費用額：116,617千円</p>	<p>費用額：116,617千円</p>

実施事業名	予約資料受渡拠点整備		概算費用	9,272 千円	実施期間	2013 年度 ~ 2015 年度
事業詳細	<p>成瀬センターの建替えにあわせ、同建物内に自動予約資料受渡コーナー、図書返却ポストを設置し、予約資料の受け取り返却ができるよう整備します。</p> <p>※ 公会計上の費用対効果 費用額：2,033 千円/年</p>					
	スケジュール	2013	2014	2015	2016	2017
設置検討、調整		設置準備	成瀬センターでの予約資料受渡機器等設置、稼動  費用額：9,772 千円 （施設改修費を除く）	成瀬センターでの予約資料受渡機器等稼動  費用額：404 千円	成瀬センターでの予約資料受渡機器等稼動  費用額：404 千円	



重点事業名	(3) 地域資料デジタル化、地域支援事業		3	目標達成時期	2015年度
重点課題		事業概要			
(3) 資料のデジタルアーカイブ化 (4) 地域支援		これまで蓄積してきた地域資料のデジタルアーカイブ化を進めます。 地域資料及び司書の情報収集能力を地域活動支援のため活用します。			
実施案	<p>地域資料のデジタルアーカイブ化に着手します。資料点数が膨大なため、中長期的な取組とします。業務は大きく以下に区分して進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料イメージデータ作成</li> <li>・資料目録整備、インデックス情報作成、データベース化</li> <li>・資料のインターネット公開</li> </ul> <p>また、デジタルアーカイブ化した資料、および他地方の情報収集能力により、施設を飛び出して地域活動を支援します。</p>				
実施事業名	資料イメージデータ作成	概算費用	5,000千円	実施期間	2013年度～ 2017年度
事業詳細	<p>資料をスキャナで読み取り、デジタルデータを作成します。 業務は、単純作業であることから障がい者就労の受け皿となる可能性が高いため、その方向での実施を模索します。</p> <p>資料総点数 10 万点以上を毎年 10,000 点、10 ヶ年事業とします。</p> <p>※ 公会計上の費用対効果 費用額：5,000 千円/年</p>				
スケジュール	2013	2014	2015	2016	2017
	業務設計 受託先調整	実施 (10,000 点/年)  費用額：5,000 千円	実施 (10,000 点/年)  費用額：5,000 千円	実施 (10,000 点/年)  費用額：5,000 千円	実施 (10,000 点/年)  費用額：5,000 千円

実施事業名	資料データベース化、インターネット公開	概算費用	見積中	実施期間	2014年度～ 2017年度
事業詳細	<p>イメージデータの作成と併行して、資料目録を作成します。 イメージデータ作成後、必要情報を付加して、デジタルアーカイブデータベースを作成します。 作成したデータベースは、レファレンスに活用するほか、インターネットを通じて、地域活動の情報支援として活用します。</p>				
スケジュール	2013	2014	2015	2016	2017
	データベース化検討	目録作成 データベース作成 費用額：〇〇千円	目録作成 データベース作成 費用額：〇〇千円	目録作成 データベース作成 費用額：〇〇千円	目録作成 データベース作成 費用額：〇〇千円
実施事業名	地域支援	概算費用	8,400千円	実施期間	2015年度～ 2017年度
事業詳細	<p>地域の課題解決に取り組んでいる、もしくは、取り組もうとしている団体に対し、司書の能力を活かして資料、情報面から支援します。 支援は、施設を飛び出し、それぞれの地域活動団体の会議に参画し、真に必要な支援を見極めることを通じて行います。</p> <p>※ 公会計上の費用対効果 費用額：2,800千円/年</p>				
スケジュール	2013	2014	2015	2016	2017
	既活動団体との調整	既活動団体との調整 実施案作成	段階的に実施 費用額：2,800千円	段階的に実施 費用額：2,800千円	段階的に実施 費用額：2,800千円

## VI. 計画を進めるにあたって

### 1. 計画の管理

本計画の管理は、以下の方法で行います。

#### (1) 施策

施策達成状況は施策達成水準に対する達成状況で確認します。

#### (2) 重点事業

重点事業は、重点事業計画に示しているスケジュールどおりに進捗しているかで確認します。

#### (3) 事業

事業は、予め定めた活動指標（効率性指標）で確認します。活動指標の実績は毎年度記入し、経年変化が一目でわかるようにします。

活動指標については、上記のほか、他市の状況も収集して、比較考量ができるようにします。ただし、収集時期の関係で、公表時期は異なります。

なお、予算が所与のものでないことから、重点事業、事業は本計画から変化することがあります。

### 2. 計画の中間確認および見直し

#### (1) 計画の中間確認および見直し

本計画第2年度終了後、その結果を見て、施策に寄与すべき事業の中間確認および見直しを行います。これは、当初計画した、施策達成に寄与する事業が、実際に寄与しているかの確認を行うとともに、実施により、実効性がないもしくは低いことが明らかとなった場合に事業手法を改善するために行うものです。

#### (2) 計画の見直し

未来づくりプラン、教育マスタープラン等、上位計画が改定もしくは策定されたときは、上位目標を実現するため、施策、事業の見直しを行います。ただし、「図書館運営理念と目標」を実現する施策は確保します。

### 3. 計画の総括

計画の総括は、本計画第4年度終了後に行い、公表します。その際、最終年度の事業および施策の達成水準は予測値として総括し、最終年度終了後に結果を補います。

図書館事業計画(2013年度～2017年度)  
【概要版】

発行日 2013年4月

発行・編集 町田市立図書館

〒194-0013

町田市原町田3-2-9

電話 042-728-8220